



令和4年5月13日

各 位

会 社 名 ジョルダン株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 俊和
(コード : 3710、東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経営企画室長 岩田 一輝
(TEL. 03-5369-4051)

**営業外収益（為替差益及び助成金収入）及び特別損失（投資有価証券評価損）の計上、
第2四半期業績予想と実績との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、令和4年9月期第2四半期連結累計期間（令和3年10月1日～令和4年3月31日）において、営業外収益（為替差益及び助成金収入）及び特別損失（投資有価証券評価損）を計上するとともに、令和3年11月11日の令和3年9月期決算発表時に公表いたしました令和4年9月期第2四半期連結累計期間（令和3年10月1日～令和4年3月31日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

また最近の業績の動向等を踏まえ、令和4年9月期通期（令和3年10月1日～令和4年9月30日）の業績予想を修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 営業外収益（為替差益及び助成金収入）及び特別損失（投資有価証券評価損）の内容

当第2四半期連結会計期間（令和4年1月1日～令和4年3月31日）において、為替相場の変動により、営業外収益に為替差益 37,921 千円（第2四半期連結累計期間では 56,317 千円）を計上いたしました。これは主として、当社グループが保有する外貨建資産及び負債の四半期末為替レートによる評価により発生したものです。加えて、「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」に係る補助金等の交付決定に伴い、営業外収益に助成金収入 38,953 千円（第2四半期連結累計期間では 40,103 千円）を計上いたしました。これは主として、MaaSに関する実証実験の実施により発生したものです。

また、当社保有の投資有価証券1銘柄について、帳簿価額に比べて実質価額が著しく下落したため、特別損失に投資有価証券評価損 17,073 千円を計上いたしました。

2. 令和4年9月期第2四半期連結累計期間（令和3年10月1日～令和4年3月31日）の業績予想と実績との差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり連結四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,600	65	70	40	7.82
今回実績（B）	1,374	7	105	50	17.15
増減額（B－A）	△225	△57	35	10	－
増減率（％）	△14.1	△87.7	51.4	25.6	－
（参考）前第2四半期連結実績 （令和3年9月期第2四半期）	1,367	80	128	46	18.23

（注）1株当たり連結四半期純利益につきましては、第1四半期連結会計期間における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映しております。

3. 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異の理由

連結売上高につきましては、収益認識に関する会計基準等の適用に伴う旅行関連の事業の売上高の減少が当初の想定を大きく上回ったこと等により、予想を下回りました。連結営業利益につきましては、乗換案内事業における法人向けの売上高が当初の想定を下回ったことに加え、実証実験等の今後の事業展開を見据えた費用の増加もあり、予想を大きく下回りました。連結経常利益につきましては、「1. 営業外収益（為替差益及び助成金収入）及び特別損失（投資有価証券評価損）の内容」に記載のとおり営業外収益を計上したこと等により、予想を大きく上回りました。また、この影響等により、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても予想を上回りました。

4. 令和4年9月期通期（令和3年10月1日～令和4年9月30日）の業績予想数値の修正

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,000	90	100	60	11.75
今回発表予想（B）	2,600	20	120	60	11.75
増減額（B－A）	△400	△70	20	－	－
増減率（％）	△13.3	△77.8	20.0	－	－
（参考）前期連結実績 （令和3年9月期）	2,913	76	140	40	7.84

（注）1株当たり連結当期純利益につきましては、第1四半期連結会計期間における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映しております。

5. 通期業績予想の修正の理由

第2四半期連結累計期間の実績に加え、直近の受注状況や第3四半期連結会計期間以降の施策の実施見通し等を考慮し、上記のとおり修正いたします。

（注）業績予想につきましては、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上